

報道関係各社 様

平成 27年5月7日



北越急行株式会社

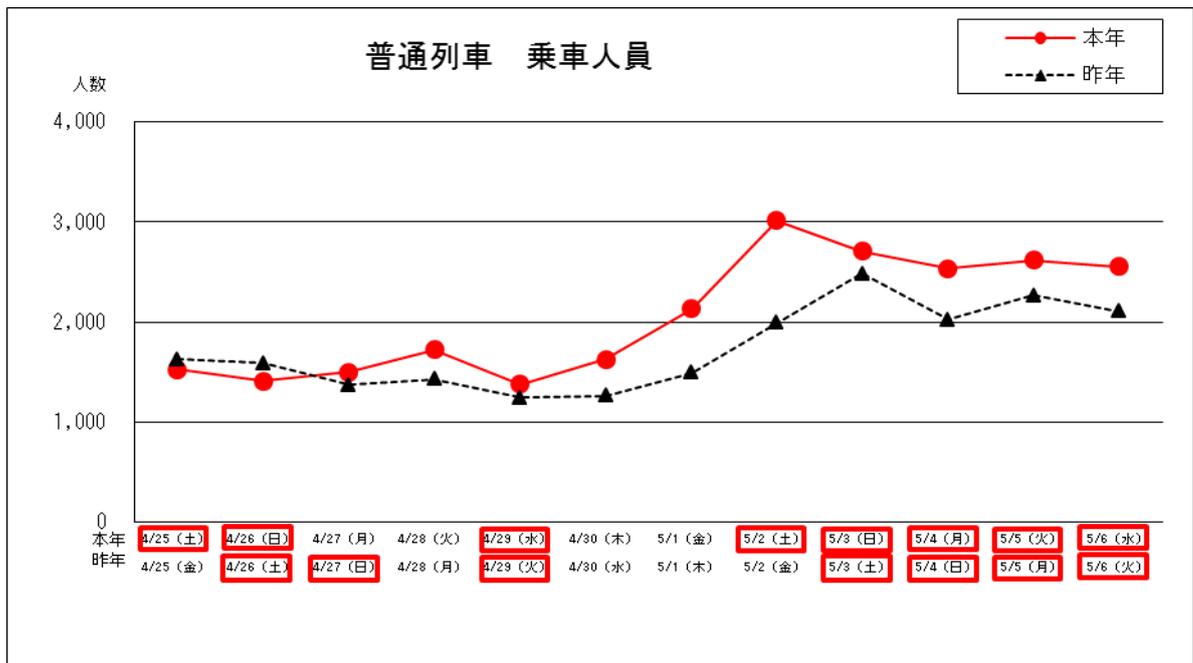
GW輸送期間中の輸送概況

4月25日～5月6日 対前年同日比較

北越急行(株) (南魚沼市 社長：渡邊正幸) では、特急はくたか号廃止 (平成 27 年 3 月 13 日) 後、初めてとなるGW期間中の輸送を、好天に恵まれた大型連休であったこと、臨時列車を増発したこと等により、好調に推移することができました。

乗車人員：全普通列車 (快速・超快速・臨時含む) の乗車人員総数

本年	昨年	差	%
24,719人	20,867人	+3,852人	+18.5%



普通列車での総乗車人員は約2万5千人となり、対前年比較で約4千人の増加となり、率にして119%となりました。

連休後半では5月2日にピークを迎え、平均的に多くのご利用をいただきました。

臨時列車による増発：

昨年までの特急利用者をカバーするため、越後湯沢駅で新幹線と接続する臨時列車を上下延べ15本増発し、混雑緩和に努めました。

5/1	5/2	5/3	5/5	5/6
下り1本	下り4本	下り4本	上り3本	上り3本

超快速列車の乗車人員：座席定員（122名）を超えるご利用をいただきました。

5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	平均
160	150	140	150	120	144

列車の運行状況：

GW期間中は運休等の大きなトラブルもなく、良好な運行状況でした。

特急廃止による影響：

今まで特急を利用してほくほく線内を訪れていたお客様が本年は普通列車をご利用いただいたことにより普通列車全体の乗車人員が大幅に増えたものと考えます。

十日町駅での乗降客数は前年をやや下回りましたので、多くの皆さまが上越方面までご利用いただいたものと推察しています。

尚、臨時列車による増発等により、期間中に乗り残し等は発生しませんでした。

【参考】昨年（4/25~5/6）の特急列車乗車人員 約11万人

以 上